

金

融機関とCSR——やさしいようで、難しいテーマです。極論するなら、金融機関の業務自体が、CSR活動そのものとさえ解釈できるからです。

（とちしん）の名で親しまれている栃木信用金庫の生出常務理事は、同金庫のCSRについて「経営理念の第一番目に『地域の皆様との信頼関係を大切に。地域社会の発展に貢献します』と謳っています。また倫理綱領でも『地域の最良のパートナーとして社会的役割を自覚し行動します』と宣言しています。

私どもがCSRに取り組むことは、企業としての社会への約束でもあるのです」と、まず強調されました。

（とちしん）が近年力を入れて取り組んでいるのが、CO2削減などの環境問題への対応です。宇都宮市のまちなみ景観賞を受賞した桜通り支店や、同じく宇都宮市の雀宮支店などの店舗にはソーラー発電を導入。また全フロア28度のクールビズ（夏季）なども行っています。もちろん、日常の業務における電気やガソリンの無駄遣いの削減も行っています。今年度



【写真/上】ソーラー発電導入でエコに貢献 【写真/下】全店舗ロビーに備えたAED

## CSRで輝く会社

第5回

栃木信用金庫

## 「おもてなしの心」で、さまざまな地域支援活動を行っています

CSR活動に取り組む企業を紹介する本コーナー。

信用金庫は地域の中小企業を支援する良きパートナー。今回は、地に足のついたCSR活動を展開する栃木信用金庫をご紹介します。



栃木信用金庫  
伏木 昌人 理事長

は、環境省の「クールアースター」にも参加し、ライトダウンやCO2削減を行いました。

その一方で地元自治会の要請を受け、夜間ライトアップを行う場合もあります。「地域の安全安心への貢献も重要なCSR。他の部分で削減に貢献するべく、努力しています」

高齢社会を迎えて、心疾患死亡者への対応が社会問題となりつつあります。（とちしん）では、平成19年より全店舗ロビーのわかりやすい場所にAED（自動体外式除細動器）を設置し、万が一の場合に備えています。

イベントへの協賛・協力などは各支店単位で積極的に行っています。大きなものでは栃木S.Cへの協賛活動も続けています。サッカーファンなら、栃木県グリーンスタジアムでパートナーをこらんならしたことがあるのでは？

「業務を通じたCSRとして、エコカーやエコ住宅の購入の場合

は金利を下げるなどの活動も行っています。また振り込め詐欺対策も、重要な貢献ですね」業務におけるCSRも含めると、紙面が何倍あっても足りません。

伏木昌人理事長の唱える「おもてなしの心」をキーワードに、地域貢献に取り組む（とちしん）。可能なことからとんとんやうていく姿勢を、参考にしたものです。



宇都宮営業部

### 栃木信用金庫

理事長 伏木昌人

◎設立 昭和3年6月15日

（本店）  
〒328-0015 栃木市万町9番28号  
☎0282-23-7111

（宇都宮営業部）  
〒320-0806 宇都宮市中央1丁目9番4号  
☎028-633-2111

営業時間 午前9時～午後3時（店舗）  
定休日 土・日曜日、祝日、年末年始

<http://www.shinkin.jp/tochigi>